B7血液内科／B8血液内科・無菌治療部・麻酔科

【部署の特徴】

＊B棟7Fは、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの患者さんが多く入院されます。主に抗がん剤による化学療法を行う患者さんが入院しますが、そのほかに自家移植やCAR-T療法 を行っています。

＊B棟8Fは、B7同様血液疾患の患者さんが入院しますが、B7との違いは臍帯血や同種移植を実施する患者さんが入院されることです。移植後は合併症や晩期障害のフォローアップが重要となるため、病棟看護師がLTFU(造血幹細胞移植後長期フォローアップ)外来に参加し患者さんの支援を行っています。2024年秋の病棟再編からは、麻酔科の病床が１床配置され、難治性疼の治療のため患者さんも入院されるようになりました。

【アピールポイント】

＊化学療法は多岐にわたるため、幅広い知識が身に付きます。

＊多様な既往歴や疾患を持ちつつ治療を行う患者さんも多く、血液疾患以外の知識や看護も幅広く経験できます。

【皆さんへのメッセージ】

＊大変なことも多いけれども、頼りになる先輩が待ってます。一緒に頑張りましょう！！